金沢SDGsツーリズム推奨制度
（推進事業者認定事業）

本制度を実施する背景及び目的

世界的にも持続可能な観光への関心が高まっており、持続可能な観光への取り組みが、宿泊施設やツアーを選ぶ際の重要な基準となりつつあります。

金沢市では、**SDGs未来都市**および**自治体SDGsモデル事業**に選定され、「市民生活と調和した持続可能な観光の振興 ～『責任ある観光』により市民と観光客、双方の『しあわせ』を実現するまち金沢～」をテーマに掲げています。自然・歴史・文化に基づく生物文化多様性を基盤とし、市民と来訪者の双方がまちの魅力を共創しながら、持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

こうした背景を踏まえ、金沢市では持続可能な観光を推進するために、**金沢SDGsの達成に取り組む宿泊事業者や旅行商品を提供する事業者を、その取り組み内容に応じて「金沢SDGsツーリズム推進事業者」として認定**しています。

金沢SDGsツーリズム推奨制度(推進事業者認定事業)

●基本的な考え方

本市観光業界のSDGsに対する意識の向上や取組の推進を図る

●対象

①旅行商品提供事業者
②宿泊施設（施設単位）

●認定のメリット

①商品、施設の露出の増加（HPでの広報）
②事業者の売上の向上に貢献
・選ばれる基準の底上げ（国際的な推奨基準に準拠）
・企業イメージ・品質の向上
③認定事業者同士の情報交換

●制度イメージ

GSTC-I（観光事業者向け基準）※国際認証

金沢SDG s ツーリズム推奨

A 効果的で持続可能な経営管理の明示
●報告と伝達　●正確な広告宣伝　等
●土地・水の権利および所有権　等

B 地域コミュニティの社会的・経済的な利益の最大化、悪影響の最小化
●地域雇用　●地元での購入　等
●ディーセントワーク　等

C 文化遺産の魅力の最大化、悪影響の最小化
●地域文化や遺産の提示
（金沢の自然、歴史、文化を体感できる内容）
（金沢の地域課題の解決につながる内容）
●文化間の相互関係　等

具体化

D 環境メリットの最大化、環境負荷の最小化
●環境に配慮した購入　●生物多様性の保存　等
●排水　●有害物質　等

認定する指標について

８つの指標ごとの認定とする。ただし、**指標①及び②は必須指標**とする

各指標ごとに設定する**取り組み項目の半数以上**に該当する場合に認定を行う

①地球の資源を大切にしよう（取り組み項目数９）※うち５項目は必須項目
②垣根を越えてパートナーシップを進めよう（取り組み項目数２）
③地域コミュニティや自然に敬意を払おう（取り組み項目数６）
④居心地の良いまちを作ろう（取り組み項目数６）
⑤働きがいのある環境をつくろう（取り組み項目数５）
⑥地域の文化や経済を守ろう（取り組み項目数４）
⑦新たな可能性に挑戦しよう（取り組み項目数４）
⑧地域の魅力とともに、観光が金沢のまちに貢献していることを発信しよう（取り組み項目数５）

認定例
指標①②（必須指標①②のみでも○）
指標①②＋ ③④⑤⑦

認定できない例
指標①　＋ ③④⑤⑦　（必須指標②を満たさないため×）
指標②　＋ ⑤　（必須指標①を満たさないため×）

金沢SDGsツーリズム推奨制度とSDGsとの関係性

金沢SDGsでは、「金沢の風土、歴史、文化を踏まえること」、「経済、社会、環境の3つの側面を包括的に捉えること」という視点から示された「5つの方向性」があり、これらをパートナーシップで達成することを目指しています。この「5つの方向性」に合わせて観光事業者有志がとりまとめた「金沢の観光事業者として目指すべき方向性」が本制度の指標となっており、SDGsの達成につながるものとなっています。

金沢SDGsツーリズム推奨制度（推進事業者認定事業）

①地球の資源を大切にしよう

②垣根を越えてパートナーシップを進めよう

③地域コミュニティや自然に敬意を払おう

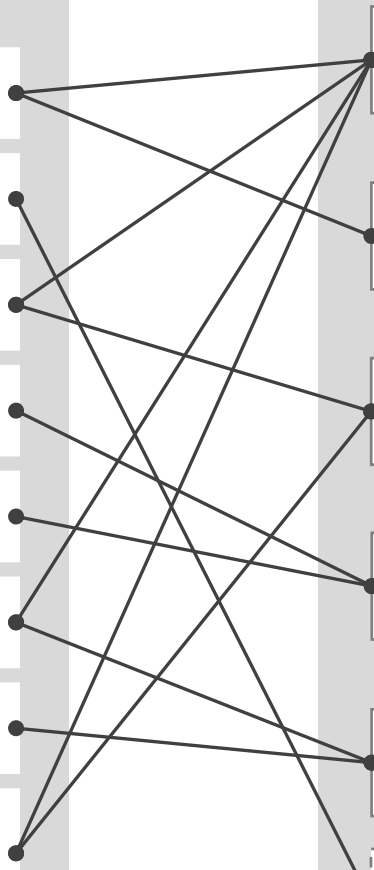
④居心地の良いまちを作ろう

⑤働きがいのある環境をつくろう

⑥地域の文化や経済を守ろう

⑦新たな可能性に挑戦しよう

⑧地域の魅力とともに、観光が金沢のまちに貢献していることを発信しよう



金沢SDGs『5つの方向性』とパートナーシップ

1 古くて新しくて心地よいまち

2 もったいないがないまち

3 子供がゆめを描けるまち

4 働きがいも、生きがいも得られるまち

5 新しいもの、ことを生み出すまち

5つの方向性をパートナーシップで推進

募集及び認定について（2027認定）

●募集（～令和9年１月29日（金）まで）

申請書データ提出

必要書類

①申請書　②申請する指標毎の申請書別紙（実施記録含む）

③団体の概要がわかるもの（定款・規約等）

※申請書様式は公式HPに掲載

●審査会（令和9年２月末予定）

審査方法

・実施記録等を添付した申請書を基に取組内容を確認し、書面にて審査を行う。

・申請書と実施記録等に齟齬があれば、確認を事務局より行う。

●認定（令和9年３月予定）

・審査結果を事業者に通知し、ロゴマークを提供する。

・推進事業者に認定された場合、事業者のHP等で取組内容等を公表することとする。

・併せてIMAGINE KANAZAWA 2030 公式HPに掲載

●推進事業者取り組み紹介（令和9年４月以降）

・認定事業者の中で特に広くPRする必要があるものについて、
オンラインでの発表や動画収録等をお願いする場合がある

ロゴマークについて

●個別の認定ロゴマークの提供

認定後、取得した指標及び年次に対応したロゴマークを認定事業者に提供

※SDGｓにおけるモニタリングの重要性を鑑み、認定の期限を１年間とする。
認定翌年度において、取組報告書を提出することにより、１年間延長する。
（ロゴマークに年次を追記して、提供する）



1 Conserve the Earth's resources [2023]
2 Promote cross-sector partnerships [2023]
3 Respect local communities and nature [2023]
4 Create a comfortable community [2023]
5 Create a rewarding work environment [2023]
6 Protect local culture and economy [2023]
7 Take on the challenge of new possibilities [2023]
8 Spread contribution of tourism to Kanazawa, along with local attractions [2023]



1 Conserve the Earth's resources [2023]
2 Promote cross-sector partnerships [2023]
4 Create a comfortable community [2023]

（資料）指標毎の取組項目

環境・循環

指標項目①【必須】

・地球の資源を大切にしよう－1

-環境負荷が少ないまちをつくろう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①食品ロスをなくすために、食べ残しを減らす取組、食べ残しの堆肥化、フードバンク活動などを進めている	・いいね・食べきり推進店に加入している。 ・宴会時に「3010運動」を案内している。 ・食べ残しの堆肥化を行っている。 ・フードドライブ・フードバンク活動・フードシェアリングモデル事業へ協力している。 ・ビュッフェで残った料理をスタッフの昼食等に利用している。	D2.4
②プログラム商品造成時に、環境負荷を限りなく少なくするような工夫をしている	・自転車や乗り合いバス、まち歩きなど環境負荷の少ない移動手段を用いるツアーを実施している。 ・カーボン・オフセットの商品を造成している。 ・宿泊時のペットボトルのキャップを集め、途上国の子ども達へのワクチン供与に寄附する活動をおこなっている。	A7.2、D1.1、D2.2、D3.1、D3.3
③資材、食品、飲料、アメニティ、建材、消耗品などの購買方針は、環境面で持続可能な製品を優先している	・グリーン購入方針を策定しグリーン購入を推進している。 ・小物類でプラスチックは極力使わない。 ・使い捨て商品の使用や購入をしないようにしている。 ・タオルやリネン類をオーガニックコットンにしている。 ・紙製品はFSC認証やWWF認証を使用している。 ・ペットボトルではなく、ウォーターサーバーを置く。 ・絶滅危惧種の対象となる食材は利用しない。	D1.1、D1.2
④ペーパーレス化を進めている	・ペーパーレス化を促進している（印刷枚数等の削減） ・電子媒体への切り替えを行う。 ・紙のパンフレットは極力置かない。	D1.1、D1.2

環境・循環

指標項目①【必須】

•地球の資源を大切にしよう－2

-環境負荷が少ないまちをつくろう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
⑤CO２排出量が少ない移動手段（徒歩、自転車、バス、EVなど）の活用を従業員やゲストに対して呼びかけを行っている【必須】	・通勤手段で公共交通利用や自転車利用を促進している。 ・レンタサイクルサービス（自転車の利用を勧める時は、乗車用ヘルメットの着用に関する情報を提供）　を促進している。 ・バス券、タクシー券を配布している。　・カーシェアリングを導入している。 ・タクシーや観光バスの乗降にともなう路上での駐停車を抑制する取組を実施している。	D2.2
⑥エネルギー消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。また、従業員やゲストに対しても使用を最小限にする呼びかけを行っている。【必須】	・エネルギー消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。（再生可能エネルギーの使用、LED照明、自動消灯） ・従業員やゲストに対してもエネルギーの使用を最小限にする呼びかけを行っている。	D1.3
⑦水の消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。また、従業員やゲストに対しても使用を最小限にする呼びかけを行っている。【必須】	・水の消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。（雨水の有効利用、節水設備、漏水検査、宿泊客へのリネンやタオル類の再使用を推奨） ・従業員やゲスト、サプライヤーに対しても使用を最小限にする呼びかけを行っている。	D1.4
⑧温室効果ガスの消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。また、従業員やゲストに対しても使用を最小限にする呼びかけを行っている。【必須】	・温室効果ガスの消費を計測および管理し、削減に取り組んでいる。 ・従業員やゲストに対しても排出を最小限にする呼びかけを行っている。	D2.1
⑨廃棄物量を計測および管理し、削減やリサイズに取り組んでいる。また、従業員やゲスト、サプライヤーに対しても排出を最小限にする呼びかけを行っている。【必須】	・廃棄物量を計測および管理し、リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる。（ペットボトルは提供しない、シャンプー等はディスペンサーに、リネン類は補修し長寿命化など） ・従業員やゲスト、サプライヤーに対しても排出を最小限にする呼びかけを行う。	D2.4

変化・革新

指標項目②【必須】

・垣根を越えてパートナーシップを進めよう

- 事業者、業界、地域の垣根を越えて積極的に協力し、コレクティブインパクトを起こそう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①地域の観光事業者と連携して、地域全体が良くなる取組や学び合いに取り組んでいる	・金沢市観光協会（DMO）の会員であり、セミナー等に参加している。 ・地域の観光事業者と連携して、地域のイメージアップや魅力向上の取組を行っている。 ・金沢市が行う各種調査・研究活動等に積極的に協力している。	A10
②業界、地域、立場を超えた学び合いや連携に取り組んでいる	・地域団体、コミュニティやNPOなどと連携して地域の課題解決につながる活動をしている。 ・大学や企業、地域住民と連携した商品開発やサービス提供をしている。 ・県外の大学生等連携した活動の場をコーディネートしている。	

借景・継承

指標項目③
•地域コミュニティや自然に敬意を払おう
-豊かな金沢を支え続けるコミュニティや自然等の地域の資産に感謝し、継承しよう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①地域にある豊かな水や緑、歴史や文化に関心をもち、地域を学ぶプログラムツアーや勉強会に社員が参加している	・従業員が地域を学ぶセミナーやツアーに主体的に参加できる機会を提供している。 ・社内で金沢を学ぶ勉強会などを開催している。	C3
②地域にある豊かな水・緑・生物を守るために植樹等の保全活動に取り組んでいる	・地域の多様な自然環境等を守るための取り組みを行っている。 ・借景を保つ活動を行っている。 ・地域の自然環境に関するプログラムを提供している。 ・地域の農園を借りて生産活動をしている。 ・売上の一部を保全活動に寄付している。 ・フラワーロス対策を実施している。	A7.2、D3.1
③地域の景観やコミュニティを守るため、地域の清掃活動などに取り組んでいる	・地域の清掃活動に参加している。 ・地域の町内活動を支援している・寄付をしている。 ・プログラムの体験場所の清掃を行っている。	B1
④子どもたちに豊かな水・緑・生物の魅力を伝えるプログラム提供や活動支援をしている	・子ども向けの自然教室の運営に協力している。 ・地域の子供の環境教育のため、自社の敷地を提供している。 ・ファミリーの利用者等に対して、自然学習などのプログラムを紹介、実践している。	D3.1
⑤自社が持つ空間を地域やコミュニティに開放したり、地域の人との交流イベントなどの機会を提供している	・敷地や施設を地域のために開放している。 ・地域のためのイベントを開催している。 ・地域との交流などに参加している。	D3.1、B1
⑥地域の自然や緑、歴史や文化資源への理解を深め、地元の人と交流できるツーリズム商品を造成している	・地域の自然や文化を地元の人から学ぶツーリズム商品を提供している。 ・地元住民と交流できるツーリズム商品を提供している。	D3.1、B1、C1

多様性・共創

指標項目④
・居心地の良いまちを作ろう
-金沢にいる誰もが居心地の良い環境をつくり、多様な価値観を大切にしよう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①多様性への理解のために、ユニバーサルデザインやLGBTQなどの理解を深め知識を得る勉強会やセミナーを社内で開催したり、外部研修に社員が参加している	・障害やその他の特別なニーズを持つ人の知識やニーズを、従業員がインプットしたり体験できる機会を作っている。 ・あらゆる顧客に対して差別をしないことを徹底している。 ・顧客のプライバシーを保護する対策を講じている。 ・館内着を男女等で色分けせず統一している。	A7.4
②自社の事業やサービスについて、ユニバーサルデザインやLGBTQなどの多様性の観点で、関連団体などからフィードバックを受けたり、多様性を進める活動を支援、協働している	・ユニバーサルデザインの専門家やLGBTQの当事者団体などからサービスに関するフィードバックを受け、定期的な改善を行っている。 ・施設やサービスのバリアフリー性や難易度について誰もが見れるように開示している。 ・多様な顧客からの意見に対して、改善の対策を講じている。 ・ダイバーシティ推進のための活動を支援している。	A7.4
③訪問者の居心地の良い環境をつくりつつ、地域への負担をかけないための特別な工夫をしている	・過度な集中を避けるよう、季節変動料金の導入やピーク時間帯を避けたプログラムを提供している。 ・夜間照明や騒音について、周辺へ配慮している。 ・道路からのアクセスについて、車寄せを設ける、適切な駐車場を事前に案内するなど、周辺の交通に影響を与えないようにしている。	D3.3、B9、C2
④自分の店で、目に見えるもの、手に触れるものを、清潔・安全、デザインに配慮したり質感のよいものにするなどの工夫をしている	・居心地のよい時間や空間を過ごすために特別な工夫を行っている。 ・清潔や安全のための取組を行っている。 ・地元産の木材を多用している。	C3
⑤施設は誰もがアクセス可能で利用できるようバリアフリー化している。どうしてもバリアフリー化できない箇所はソフト対応を徹底している。	・段差の解消などアクセスのバリアフリーを徹底している。 ・ユニバーサルデザインに対応した複数の客室を用意している。 ・配慮が必要な方への接遇に工夫を行っている。 ・障害や宗教・文化的な配慮を行ったサービスやプログラムを提供している。	A7.4
⑥食の多様化が進んでいることを理解し、食物アレルギーや宗教的な制限に対応している	・食物アレルギーに対応している（必須） ・ハラルやベジタリアンなど多様な要請に対応している。	

多様性・共創

指標項目⑤
•働きがいのある環境をつくろう
-観光に携わる人が誇りを持ち、働き続け易い環境をつくろう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①観光に携わる人材育成のために、スキル教育やキャリアパス教育を積極的に進めている	・従業員にキャリアパスを明示している。 ・従業員に外部研修を受講させ、受講記録を残している。 ・従業員の資格取得に対して支援している。	A4、B7、（B2）
②観光に携わる人が誇りを持って長く働けるよう、環境を整備している	・従業員の残業時間は法定を遵守している ・連続休暇制度を設けている。 ・従業員と対話しながら働き方改革に取り組んでいる。 ・中抜け勤務の解消を図っている。 ・昇給基準の仕組みを開示している。	B7、（B2）
③サバティカル休暇（長期勤続者に与えられる長期休暇）、副業・兼業人材、リモートワークなど柔軟な働き方を採用している	・サバティカル休暇がある（長期勤続者に対して一定期間長期休暇を与えられた休暇） ・短日勤務、短時間勤務制度がある ・兼業を容認している。	B7
④デジタル化を積極的に取り入れ、生産性向上、サービス向上、高付加価値化、衛生管理等を進めている。	・自動体温測定の導入や無人チェックイン、チェックアウトシステムを導入している。 ・キャッシュレス対応している。 ・その他のデジタル化やDXなど	（B7）
⑤観光業界で働く魅力を伝える取組等を通じ、地域から従業員を安定的に雇用している。	・求職者へ自社の魅力を伝える広報活動（専用サイトの立ち上げ等）を行っている。 ・地元地域からの正社員雇用が過半数を超えている。 ・地域の学校と連携し、インターンの受け入れや魅力を伝える講座などを行っている。	B2

環境・循環

指標項目⑥
・地域の文化や経済を守ろう
- 地域内で循環する仕組みを作り、経済・環境・社会の観点で循環を進めよう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①地域で作られたモノやサービスを購入するなど、資材調達の域内調達率向上に取り組んでいる	・地域調達率を把握し、その向上に努めている。 ・一次生産者と直接取引をするなど支援を行っている。	B1、B2、B3、B4
②地域の文化や経済を大切にし持続可能な生産に取り組むサプライヤーから購入している	・購入する場合は、生産地まで足を運びバックグラウンドを確認するなどトレースを行っている。 ・フェアトレードをしている。	B3、B4、D2.2
③地域の伝統的な食文化、伝統工芸、伝統芸能などを大切にして取り入れている	・文化観光を推進している ・”ふるさと認証食品”を利用した料理などを提供している。 ・地元産品や地元文化を用いた商品やサービスを提供している。 ・器に伝統工芸品を使用している。 ・インテリアや設えに伝統工芸を使用している。 ・宿泊施設等で使用する食器が破損した場合は、金継ぎで修復している。	C1、C3、D1.1
④地域で作られたモノ・サービスの魅力をお客様や同業者などに積極的に伝えている	・地域産品の特徴や良さをお客様に伝えている。 ・同業者などとともに、地域産品の共同仕入れなどを行っている。	B1、B3、B4

変化・革新

指標項目⑦

•新たな可能性に挑戦しよう

-金沢にいる人全てがしあわせとなる仕掛けをつくり、新しい場や価値をつくろう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①事業所や従業員が、地域コミュニティ、NPO法人、異業種の人たちと交流したり、コラボレーションする活動に取り組んでいる	・地域コミュニティ等との協働でのイベントを開催している	A10、 B1
②地域コミュニティと金沢を訪れる人とが交流、共創できる仕掛けや場を創造している	・観光客と地域住民が触れ合う機会を設けている	B1、 C1
③アート、工芸、音楽、デザイン、食など様々なジャンルと連携するイベントや取組を支援している	・金沢のアート活動に貢献している ・金沢版「クラフト・ツーリズム」等の造成や協力を行っている。 ・金沢の伝統食を利用したイベントを行なっている ・若手工芸作家の作品を展示販売するなど、若手作家の活動に貢献している。	C3
④ワーケーション、オンラインツアーなど、リソースに技術やアイデアを掛け合わせて新たな旅のカタチづくりに挑戦している	・ワーケーションに取り組んでいる。 ・オンラインツアーに取り組んでいる。 ・その他、新しい観光スタイルのクリエイションに取り組んでいる。	

変化・革新

指標項目⑧

•地域の魅力や観光の貢献度を併せて発信しよう

-地域の魅力や地域に対する観光の貢献を分かりやすく発信し、共創を誘発しよう

評価項目	具体的な取り組み例	GSTC-I 対応項目
①地域の魅力を国内外に発信したり、同業者とともにサービス向上のための取組を行っている。	・自社媒体（ホームページなど）で地域の魅力を発信している。 ・同業者と地域資源共有のための情報交換を行っている。 ・同業者と品質やサービス向上のための取組を行っている。	A3、B1、C1、C3
②地域に訪れる人に金沢のまちを楽しむ方法（まち歩きなど）を提案している	・地域の散策マップなどを利用者に提供している。 ・オリジナル周辺マップ等を作成し提供している。 ・地域情報（お店、イベント、祭りなど）などを利用者に提供している。 ・地域のマナーやお互いに気持ちよく過ごしてもらうためのルールを利用者へ案内している。	A9、C1、（D2.2）
③地域における観光の貢献度を可視化し、わかりやすく発信している	・把握するデータ（エネルギーの消費量など）の公開や市統計へ協力している。 ・災害時に地域住民や観光客の避難場所として協力している。 ・住民や旅行者が自由に利用できるウォーターサーバーをロビー等に設置している。	A3、A6、A10
④SDGsに関わる取組内容や計測結果を継続的にホームページなどで公開している	・SDGsへの取組についてホームページなどで公開するとともに、計測結果も定期的に更新している。 ・地域や顧客に対して、持続可能性に関する積極的なコミュニケーションをとっている。	A1、A3、A6
⑤地域コミュニティや顧客の意見を聞き、必要な措置を講じている	・地域コミュニティのために、意見先や苦情処理に関する窓口を設置し、記録している。 ・定期的な地域住民へのアンケートや意見交換を行っている。 ・顧客の意見を取り入れ分析するシステムがあり、PDCAをまわしている。	A5、B8